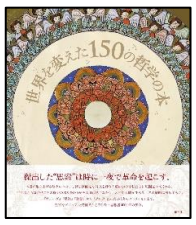
新着本案内8月号

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館
令和4年7月20日

『世界を変えた150の哲学の本』アダム・フェルナー, クリス・メインズ著（102/フ）



『ヴェーダ』『論語』から『グレタたったひとりのストライキ』まで、哲学・思想書4000年の歩みを豊富な資料でたどります。

『1冊で学位 哲学』ピーター・ギブソン著/屋代菜海訳（130/ギ）

西洋哲学の主要なテーマや基本的な概念について、わかりやすく解説しています。

『子どもたちが綴った戦争体験』シリーズ 村山士郎著

『勝って来るぞといさましく』(210.74/ム/1)
『身を捨てて、国を守る』(210.74/ム/2)
『学校は戦場だ!』(210.74/ム/3)
『最後まで、勝利を信じて』(210.74/ム/4)
『平和な地球世界をめざして』(210.74/ム/5)

戦時中、子どもたちは何を思い、考えていたのかを、当時の資料を基に読み解きます。

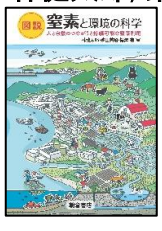
『世界の人物大年表』(280/セ)

無名の少女から皇帝まで、同時代の人々の考え方や行動に影響を与えてきた人物の生涯を、印象的なエピソードとともに紹介しています。

◇人種差別について考える本◇

『14歳から考えたいレイシズム』アリ・ラッタンシ著/久保美代子訳（316.8/ラ）
『14歳から考えたいアメリカの奴隷制度』ヘザー・ウィリアムズ著/月沢李歌子訳（316.85/ウ）
『ブラックアウト』キャンディス・オーウェンズ著/我那覇真子訳（316.85/オ）

『図説窒素と環境の科学』林健太郎, 柴田英昭, 梅澤有編（435.53/ハ）



様々な分野で扱われる窒素を、環境・食料・資源・エネルギーといった観点から、体系的に解説しています。

『ダマして生きのびる虫の擬態』海野和男写真と文（486.1/ウ）

昆虫写真家の著者がおくる、擬態する昆虫の写真集です。

『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』井上祐紀著（498.39/イ）

いつもイライラする、学校に行く意味がわからない、コロナで目標がなくなったなど、精神科医が様々な悩みに答え、問題解決の手段としての休み方を提案しています。

『Newton大図鑑 飛行機大図鑑』航空科学博物館監修（538/コ）

旅客機を中心に、飛行機に関するさまざまな疑問を写真やイラストとともに解説し、国産飛行機や、未来の航空機も紹介しています。

『きょうは選挙の日。』塚本やすし作（726.6/ツカ）

ある家族の選挙の一日を通して、選挙とは日常の延長にありながらも、かけがえのないものであることを描きます。

『世界の看板にゃんこ』新美敬子著（748/ニ）

世界19カ国42匹の看板にゃんこたちが、土地の魅力、店の魅力を語る、猫フォトエッセイです。

『これからはじめる外国語入門』シリーズ

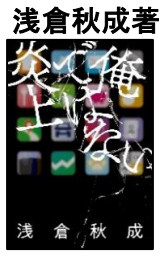
『中国語』李軼倫著（820/リ）
『韓国語』趙義成著（829.1/チ）
『ドイツ語』高橋亮介著（840/タ）
『フランス語』大塚陽子著（850/オ）
『スペイン語』福嶌教隆著（864/フ）
『イタリア語』花本知子著（870/ハ）
『ロシア語』前田和泉著（880/マ）

無理なく着実にステップアップできる、外国語の入門書です。英語以外の外国語に挑戦したい人におすすめです。

文学

『いにしえの言葉に学ぶきみを変える古典の名言』福井蓮文（910.2/フ）
『紀行文・日記 奥の細道・更級日記ほか』
『物語 竹取物語・今昔物語ほか』
『随筆 枕草子・徒然草ほか』

『俺ではない炎上』浅倉秋成著（913.6/アサ）



ある日突然、SNSで「女子大生殺害犯」に仕立てられた泰介。日本中の人間が敵となり、必死の逃亡を続ける泰介が辿り着いた驚きの真相とは･･･。

『誰かがこの町で』佐野広実著（913.6/サノ）

郊外の住宅街で、19年前に起きた一家失踪。謎の解明の前に立ちはだかる忖度、同調圧力、自己保身、理由のわからない排除。そして事件は連鎖する。

『掟上今日子の忍法帖』西尾維新著（913.6/ニシ/14）

人気シリーズ第14弾！
ニューヨークのセントラルパークで殺人事件が発生。容疑者となった忘却探偵・掟上今日子は、疑いをはらすことができるのか？

『うまたん』東川篤哉著（913.6/ヒガ）

田舎の乗馬クラブで起こった殺人事件。容疑者とされたのは、なんと馬のロック！？「馬の耳に殺人」をはじめ全5編の馬にまつわるユーモアミステリ。

『少女と少年と海の物語』クリス・ヴィック著/杉田七重訳（933.7/ヴイ）

激しい嵐で漂流していた少年ビルは、同じく嵐で遭難した少女アーヤと出会う。極限状態のなか、アーヤが語る物語の力がビルの心を救う。

『亜鉛の少年たち』スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ著/奈倉有里訳（986/アレ）

「国際友好の義務を果たす」という政府の方針で、アフガニスタンの戦場へ送り出されたソ連の若者たちの肉声を綴ります。